

佳作 ひとりじゃない



スラサー カムゲーオ
SURASA KHAMKAEW
国 籍 タイ
職 種 プラスチック成形
実習実施者 株式会社西川ビッグオーシャン
監 理 団 体 西日本海外業務支援協同組合

2019年12月からコロナ感染が始まって、この3年以上は、みんながコロナのせいで苦しいんでいたと思います。私もその一人でした。

2020年8月、私は技能実習生の面接を受け、合格しました。2021年2月日本へ行く予定が決まりました。私はいっしょうけんめい日本語を勉強しました。最初はむずかしく感じましたが、学んでいるうちにだんだん楽しくなりました。

しかし、出発予定がちかづいても送り出し機関から連絡は来ませんでした。私はとても焦りました。家族からも「いつ日本へいけるのか？このままじゃ生活費もなくなるよ！」と問い詰められ、どうすればいい？やめる？待ち続ける？と私はストレスが溜まりました。私は日本語の先生に相談してアドバイスをもらいました。日本語の勉強時間を減らしてアルバイトをしました。家族からのプレッシャーも少なくなりました。相談すれば解決できると学びました。

そして、2022年4月やっと念願の日本に入国できました。コロナウイルスはまだ収まっていなかったた

め、オンライン授業を受け、日本での生活に慣れるように努力をしました。しかし、同室の友達と上手くいきません。コロナ感染防止のため、タイでの共同生活はできませんでした。来日して初めての共同生活になります。お互い自分のことを優先しているから、意見がぶつかったりケンカをしたりして私はストレスが溜まりました。私は組合の先生に相談をして全員の話し合い場を設け、お互いの気持ちを伝え、対策を一緒に考えてやり直すことにしました。今は、問題なく共同生活をしています。

仕事の面もストレスが溜まりました。日本の仕事に対する考え方。例えば、タイでは病気になったら、仕方がないで終わりますが、日本では、自己管理が出来ていないから、病気になるんだと言われます。生産目標をなかなか達成できないことも、努力が足りないと言われました。私はどのように努力をすればいいかを上司に相談しました。上司は、作業のむずかしいところと一緒に考えてくれてやり方を変えました。私はそれに従って目標達成できました。

海外での生活は、決して簡単ではないですが、問題や挫けるようなことがあれば、相談したら、いい解決方法が見つかります。私の周りには、友達、組合の先生、会社の上司がいます。残りの2年間、私は後輩から相談を受ける役になりたいと思います。